

- LogicでHALion Sonicをマルチパートで使用する -

このマニュアルではSteinberg HALion SonicをApple Logicにてマルチティンバー音源として使用する方法をご案内します。

HALion SonicをMIDIマルチチャンネルで使う

Step.1

新規トラック作成より、ソフトウェア音源を選択し、マ ルティンバーにチェックを入れます。 この時トラック数は16にしておくとよいでしょう。

) se m
) 99-70 8
(And and a state

Step.2

作成されたソフト音源トラックにHALion Sonicをイン サートします。

ーつのソフトウェア音源トラックにHALion Sonicを割 り当てれば、他のソフトウェア音源トラックにも自動的 に割り当てられます。

LogicからHALion Sonicを選択するときはステレオ出力 タイプとマルチ出力(16xステレオ)タイプが用意され ています。



Step.3

右図のように各ソフト音源トラックにHALion Sonicが 割り当てられます。 各トラックは番号の若いトラック順に1~16チャンネ ルに割り振られています。

ペロシティ:	1 Division Inst 1	0 00
ダイナミクス: ‡		
ゲートタイム: ‡ ディレイ: ‡	2 Inst 1	R MS
▼ Inst 1	3 10777 Just 1	
アイコン: 山田		
Core Audio: Inst 1	4 🎝 🖬 🖬 Inst 1	R MS
MIDI チャンネル: 2 💠		
値を表示:dB 💠	5 과 🗰 Inst 1	RMS
トランスポーズ: ‡		
ペロシティ:	6 🖬 Inst 1	R MS
年一範囲: C-2 G8		
ペロシティ範囲:0 127	7 🖉 Inst 1	R MS
ディレイ:		
トランスポーズ無し:	8 🖉 🖬 Inst 1	RMS
リセット無効:		
スタイル:自助 ‡	9 🖉 🖬 Inst 1	R MS
HALion So	10 🚺 Inst 1	RMS
Out 1-2	and the second second	
Inst 1 Out 1-2	11 🖉 🖬 Inst 1	R MS
x7 x7	12 1 Inst 1	RMS
	13 📝 🗰 Inst 1	RMS
	14 🖬 Inst 1	RMS
	15	R MS
	16 🚛 Inst 1	R MS
MSM		
(D) Bnce		
	5 BT 1771	TTAN P

- LogicでHALion Sonicをマルチパートで使用する -

HALion Sonicのサウンドをマルチ出力する

※この説明はHALion Sonicをマルチ出力(16xステレオ)で選択した時のみ有効です。

Step.1

HALion Sonicが割り当てられたトラックを選択した状態でウィンドウよりミキサーを選択しミキサーウィンドウを開きます。

HALion Sonicが割り当てられたトラックの[M][S]ボタ ン近くにある[+]を押すことでAUXトラックを追加してい くことが出来ます。

HALion Sonicは16チャンネルステレオアウトプットが 可能です。元々作成されていたソフト音源トラックに加 えAUXを15トラックまで増やすことができます。



HALION SONIC

Step.2

作成されたAUXトラックのインプットはトラック番号の 若い順にHALion Sonicから出力が3-4/5-6/7--8とうい う順に割り当てられています。

特に変更する必要はありませんが、用途に合わせて変更 も可能です。

[HALion Sonic] Out 2 = [Logic]HALion Sonic 3-4 [HALion Sonic] Out 3 = [Logic]HALion Sonic 5-6 [HALion Sonic] Out 16 = [Logic]HALion Sonic 31-32



Step.3

HALion Sonicでは、[Mix]ページを開き、画面右端の Outputを選択します。 各トラックの出力先をここで設定します。

FX1	FX2	FX3	FX4	Output	
				Main 🔻	
				Out 2 🔻	
				Main 🔻	
	•	•	•	🖬 🗸 Main	
		-		Out 2	
				Out 3	
		للسعي		U Out 4	
				Out 5	